

第8回「鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会」

結果概要

1 開催日時・場所

令和8年2月3日（火）10：00～11：20

ホテルウェルビューかごしま 2階 潮騒（鹿児島市）

2 会次第

1 開会

2 説明 ※括弧書きは説明者

(1) 本港区エリアまちづくり事業の取組

- ・ トライアル・サウンディングの実施状況について
（北ふ頭 しおかぜ通り）（県）

- ・ 事業者公募に向けた検討状況について（北ふ頭エリア等）（県）

(2) 本港区エリアまちづくりに係る動向

- ・ スポーツ・コンベンションセンターについて（県）

- ・ 住吉町15番街区利活用事業 基本協定の締結について（県）

(3) 中心市街地との回遊性向上に向けた取組

- ・ マイアミ通りまちづくり協議会の取組状況（同協議会）

- ・ イベント情報の共有（県）

3 意見交換

4 閉会

3 意見交換（要旨）

（一般社団法人 鹿児島市商店街連盟会長）

- ・ 北ふ頭エリアの4号上屋と野積場、しおかぜ通りは閑散としているため、早急に有効活用してほしい。
- ・ 北ふ頭エリアとウォーターフロントパークエリアは食事をとる場所がないため、4号上屋と野積場を開発する際には飲食施設などがあると良いと思う。ただし、港湾事業者に影響が出ないような形で開発してもらいたい。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ まずは4号上屋、しおかぜ通りの活用策を必須とした形で民間事業者の活力導入を考えていく。
- ・ 開発の際は、民間事業者が飲食も含めて収支が取れるような施設を考えて参入すると思うので、そのようなものが提案できるような条件を検討したい。
- ・ 北ふ頭エリアは、港湾事業者が行き来する中で事業を行うことになるため、港湾事業者との住み分け・維持等について、十分配慮した形の条件で進めて

いくことになると考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 公募範囲を、桜島フェリーターミナルや県営第1～3駐車場等も含めて提案してよいとなっているが、サウンディング調査の中で民間事業者から範囲を広げるのであれば事業性確保は可能という話があったということか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ おっしゃるとおり、サウンディング調査において、民間事業者から範囲を広げるのであれば事業性確保が可能と御意見をいただいた。北ふ頭エリアに隣接する桜島フェリーターミナル周辺エリアを公募範囲に含める形で検討していきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 北ふ頭エリアを先に公募し、その次にウォーターフロントパークエリアを行うことになる予定とのことだが、ウォーターフロントパークエリアは何もない場所であり、できたとしてもカフェが一つあるかないかの感じで、みなと緑地PPPを活用するとしても事業性がなかなか成り立たないのではないか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ウォーターフロントパークエリアについては、スポーツ・コンベンションセンターや北ふ頭エリアなど、他エリアの開発状況も含めた形で公募を考えていくことになる。その中で、事業性確保については、北ふ頭エリアを先行として公募するにしても、他エリアとの関連性について民間事業者に十分検討していただけるような公募の条件を考えていくべきであるため、今回いただいた御意見も参考に進めていきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ ウォーターフロントパーク自体が一番の目玉であり、県民の期待がある場所。段階を踏むやり方はよいと思うが、イベントをするにしても雨が降ったら芝生がぬかるむなど、その間ほったらかし状態になってしまう。この大事なところを後回しにするのではなく、もう少し考えてほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ウォーターフロントパークエリアについては、今後、他エリアの開発の状況を含めて公募時期・進め方を考えていきたいと考えており、その間にどういうことを行うことがよいかということを含めて御意見を参考にして進めていきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 任意提案の中に、北ふ頭旅客ターミナルも入っているが県が改修をやるこの話も聞いており、任意提案の中で事業者がどのような活用を考えるのか、改修の進捗状況等も含めて教えてほしい。

(県土木部 港湾空港課長)

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルの改修については、今年度、設備改修の設計等を進めており、主な内容としては、トイレや空調設備、エレベーターなどを改修し、今後、C I Q機能の整備なども実施していく予定である。
- ・ 現在、設計中で、今年度末の工事発注に向けて取り組んでおり、まずはトイレの改修工事を今年度末から着手し、その後、空調、エレベーター等の改修に順次取り組んでいくことと考えている。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 民間事業者の提案については、旅客ターミナルの基礎的部分の改修が検討されているため、公募は、その改修と調整しながらできるところの提案をお願いしていくことになると考えている。
- ・ 県としては、公共が改修等を実施した上で、民間事業者が有効活用できるところについて活用策を検討していただきたいと考えている。

(鹿児島港運協会 事務局長)

- ・ 本港区エリアについては、全体的に連携を取りながら開発を進めてほしい。
- ・ 現在、北ふ頭エリアの南側の岸壁に入るときは、4号上屋横のゲートを通るが、道路の位置や港湾事業者の駐車場の位置とかも変えようとしているのか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 本港区エリアを7つのエリアに分けて、それぞれ全体として進める中で賑わいの最大創出を図っていききたいという形でエリアコンセプトプランを策定し、その上で、現在、各エリアを利活用方針の具体化に向けて進めている。
- ・ エリアコンセプトプラン自体が、港湾機能がある中で両立を目指すものとなっているため、駐車場の入口や港湾事業者の駐車場の確保等については、十分図った上で進める提案を出していただけるよう、条件を明確に出していきたいと考えている。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ 港に親しんでいく機会を大切にしていければと思っており、その一環として、近代港湾120周年を迎える2027年にパネル展を中心とした鹿児島港展を開催するべく進めている。開催場所については、港周辺の既存施設の活用を想

定しており、短期的な利活用の形で実施できればと考えているため、県の取組に歩調を合わせながら関わっていききたい。

- ・ エリアコンセプトプランにおいて、大型クルーズ船で訪れる観光客も賑わいのターゲットとして整理しているため、（マリンポートかごしまから来る）大型観光バスの駐車場の提案もできるよう公募要項を検討してほしい。

（県土木部 港湾空港課長）

- ・ 港湾管理者としても、鹿児島港の開港 120 周年のイベントということで、港の必要性・重要性を皆さんに知ってもらいたい機会だと思っており、そのような取組を実施いただくことに非常に感謝している。
- ・ 県としても非常に大切な取組、良い機会であると思っているため、しっかり協力できる場所は一緒に取り組んでいきたいと考えている。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ 今回の公募の範囲における、クルーズ船のバス駐車場の提案という部分については、任意ではあるが県営第 1 から第 3 の駐車場について検討可能という形で進めたいと考えており、公募条件を検討する際には、今回御意見いただいた大型バスの駐車場の検討等も参考に進めていきたい。

（鹿児島市建設局都 都市計画課長）

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルと同ターミナル西側野積場も公募範囲に入れるということで、西側野積場は同ターミナルの整備に伴い、県の計画としてバス駐車場の整備などがあると思うが、この計画との兼ね合いを十分配慮して公募をするという認識でよいか。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ 野積場については、民間事業者に関してはターミナルの改修を踏まえた提案や、新たな活用策も含めて幅広く検討していただきたいと考えており、具体的には、今回いただいた御意見も踏まえて条件を詰めていきたいと考えている。

（鹿児島市建設局 都市計画課長）

- ・ 事業手法で使用許可やみなと緑地 PPP があるが、この事業手法を分けることにより、公募しやすくなる等のメリットやもしくはデメリットなどがあるのか。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ 北ふ頭エリアにおいては、現制度として使用許可等で進めている。
- ・ みなと緑地 PPP については、令和 4 年度に国が港湾法を規制緩和し、収益施設を作った場合には長期貸付が可能な上、収益の一部を使って維持管理をし

ていただける制度。あくまでも現段階の想定ではあるが、県としても、維持管理を任せられるところは任せて進めたいというところで、みなと緑地PPPを事業手法として想定している。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 全てを民間に任せるとはではなく、ある程度、公共として実施できる取組も必要ではないか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 昨年10月に民間事業者へサウンディングをし、事業主体としての意向を示す事業者から提案が来たことに対し、その提案内容を実施するにあたり、既存の制度の中で十分実施できるというものを想定している手法である。あくまでも民間事業者の提案が対応可能な範囲の制度と考えているが、最終的には県としても、民間事業者が間違いなく参入しやすい条件であるかはしっかり精査し事業手法を決定していきたいと考えている。

(鹿児島市建設局 都市計画課長)

- ・ 現在、トライアル・サウンディングを実施しているが、その結果を検証した段階で公募要項が作られ、公募を進めるということか。
- ・ 先月の鹿児島市の都市整備対策特別委員会で、トライアル・サウンディングの3月までとなる実施期間と寒い期間が重なったとの御意見をいただいたが、暖かい時期まで期間を延ばす考えはあるか。
- ・ エリアコンセプトプランにおいて、人が歩きたくなる取組としてベンチなどストリートファニチャーの確保を掲げているが、公募範囲外のエリアは、どのように取り組むのか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 公募要項の検討は並行で実施しており、トライアル・サウンディングの途中状況も取れる状態ではあるので、今回のご意見等も踏まえながら、事業性の判断というのは進めていきたい。
- ・ トライアル・サウンディングの実施時期はもともと3月までとして公募しているため、現在のところ3月までの実施予定であり、それ以降の予定はない。
- ・ 本港区エリアの各エリアにおいて開発が進む中で、施設がどのような形で配置されるかが見えてくるので、そのことを踏まえて、検討することになるのではないかと考えている。

(一般社団法人鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ ウォーターフロントパークエリアは中心市街地の中で自然がある貴重な場所なので、利潤追求だけではなく憩いと癒しの空間としてほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ウォーターフロントパークエリアについて、エリアコンセプトプランで、まさに癒しや憩い、誇りや親しみを感じることができる取組を行うという大きい方針が示されているので、事業性確保がありながらというところとのバランスがとれるよう、今後、他のエリアを進めるに当たっても検討しながら条件を決めていきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 民間活力の導入という流れは理解するが、ウォーターフロントパークエリアの事業性は低いと思われる。全てを民間に任せるのではなく、ある程度、公共として実施できる取組も必要ではないか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ まずは民間活力の導入を基本に検討しながら、他のエリアの開発状況を見ながら、事業手法は何かよいかというところは、検討していきたい。

(鹿児島県旅客船協会 事務局長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの交通量調査について、荷役事業者にも個別にヒアリングをしたと聞いており、当該調査の結果が出たら懇談会の場で共有してほしい。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 交通量調査は、スポーツ・コンベンションセンターの敷地の車両の出入口や来場者の動線、施設自体の出入口などを決めるために行っており、結果については懇談会でも共有させていただく。